

本書は、英語によるCrédit Agricole SA 2019年度第3四半期報告書の抄訳であり、英語による原文がすべての点においてこの日本語の抄訳に優先します。疑義がある場合には英語の原文に従い解釈をお願いいたします。

2019年11月8日 モンルージュ

2019年度第3四半期及び9ヶ月累計期間の業績結果

2019年度第3四半期: 堅調に伸びる業績

クレディ・アグリコル S.A.		
基礎収益 ¹	基礎純利益 ²	CET1 レシオ
当四半期: 50 億 7,300 万ユーロ	当四半期: 12 億 2,600 万ユーロ	11.7%
前年同期比+4.9%	前年同期比+8.2%	9月/6月で+0.1ポイント
当9ヶ月累計期間: 151 億 5,400 万ユーロ	当9ヶ月累計期間: 32 億 6,400 万ユーロ	MTP 目標を大幅に超過
前年同期比+1.8%	前年同期比-2.2%	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 当四半期の表示実績: 11 億 9,900 万ユーロ、前年同期比+8.9%(当9ヶ月累計期間: 31 億 8,300 万ユーロ、前年同期比-6.2%)、当四半期は大幅増を記録 ■ 活発な営業活動と営業効率の改善により、当四半期の基礎的収益¹が増加(前年同期比+8.2%) ■ 基礎 EPS: 当四半期は 0.34 ユーロ(前年同期比-6.3%)、当9ヶ月累計期間は 0.97 ユーロ(前年同期比-8.6%)、当9ヶ月累計期間のROTE³は年換算で 11.3% ■ 顧客獲得、貯蓄、融資、クロスセルの順調な推移による基礎収益の増加(四半期では前年同期比+4.9%、9ヶ月累計期間では同+1.8%) ■ アセット・ギャザリング部門での開発投資にもかかわらず、当四半期の大幅なプラスの乖離効果(+340 ベーシスポイント)とSRF⁴を除く基礎コスト比率の改善(当四半期は-2.0ポイントの59.6%、当9ヶ月累計期間は-0.4ポイントの60.5%) ■ 低水準の信用リスク関連費用: 29 ベーシスポイント⁵、CIB のリスク関連費用の正常化、CACF と CA イタリアについて第3四半期/第2四半期で減少 ■ 当四半期のCET1レシオは+0.1ポイントの11.7%に上昇、特に各事業部門の有機的リスク・ウェイト資産の安定が寄与 ■ ムーディーズがCAsaの長期信用等级付けをAa3に引き上げ ■ 2022年中期計画の実施継続: 顧客関係のデジタル化推進、顧客満足度の増大、フランスとイタリアでの活発な顧客獲得(個人客は21万人増)、10億ユーロ規模のグリーンボンド発行 		
クレディ・アグリコル・グループ*		
基礎収益 ¹	基礎純利益 ²	CET1 レシオ
当四半期: 83 億 3,100 万ユーロ	当四半期: 19 億 2,400 万ユーロ	15.5%
前年同期比+2.9%	前年同期比+6.0%	9月/6月で+0.1ポイント
当9ヶ月累計期間: 251 億 8,800 万ユーロ	当9ヶ月累計期間: 52 億 500 万ユーロ	SREP ⁶ を5.8ポイント超過
前年同期比+1.8%	前年同期比-0.3%	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 当四半期の表示純利益²: 18 億 4,900 万ユーロ、前年同期比+4.5%(当9ヶ月累計期間: 50 億 1,200 万ユーロ、前年同期比-5.0%) ■ SRF⁴を除き当9ヶ月累計期間の営業費用抑制(前年同期比+1.5%)、コスト比率が低下(前年同期比-0.1ポイントの62.7%) ■ 信用リスク関連費用は20ベーシスポイント⁵と低水準(CIBの一度限りの引当金) ■ 当9ヶ月累計期間の地域銀行の基礎収益が増加(+1.9%)、リスク関連費用は12ベーシスポイントで安定 		
* クレディ・アグリコル S.A.と地域銀行の100%。		

本プレスリリースでは、クレディ・アグリコル S.A.及びクレディ・アグリコル S.A.の子会社とクレディ・アグリコル地域銀行(クレディ・アグリコル S.A.の56.6%を所有しています)で構成されるクレディ・アグリコル・グループの業績についてコメントします。特殊要因の詳細(これは、基礎的実績を計算するためにさまざまな指標で修正再表示されます)については、本プレスリリースの19ページ以降を参照ください。表示損益計算書と基礎的損益計算書との調整は、クレディ・アグリコル S.A.については21ページ以降、クレディ・アグリコル・グループについては25ページ以降に記載されています。

¹ 本プレスリリースにおいて、「基礎」とは、19ページ以降に記載される特殊要因について調整された中間残高をいう。

² 純利益グループ帰属分。

³ 特殊要因を除いた基礎。特殊要因の詳細については19ページ以降、ROTEの計算については29ページをそれぞれ参照。

⁴ 単一破綻処理基金(SRF)への拠出金。

⁵ 過去のローリング4四半期を対象とした年換算平均。

⁶ 9.7%のSREP要件に準拠(カウンターシクリカル・バッファを含む)。

クレディ・アグリコル S.A.

四半期ベースで基礎純利益グループ帰属分が大幅増

- 基礎純利益グループ帰属分:当四半期は 12 億 2,600 万ユーロ、前年同期比 8.2%増(当 9ヶ月累計期間は 32 億 6,400 万ユーロ、前年同期比 2.2%減)、(コーポレート・センターを除く)各事業部門で業績拡大(四半期では前年同期比 6.8%増、9ヶ月累計期間では同 2.4%増)
- アセット・ギャザリング部門の安定的な寄与、フランスのリテール・バンキング部門の依然として強力な GOI、CA イタリアの寄与分の大幅増(24%増)、専門金融サービス部門の自動車ローン提携事業の適正な費用抑制と大きな寄与、及びリスク関連費用の戻入れにもかかわらず、大口顧客部門からの寄与分が増加した資本市場の堅調な業績
- 2018 年度上半期の高い水準によって不利になったコーポレート・センターの寄与分、法人所得税率の 2.0 ポイント増、CIB の正常化に伴うリスク関連費用の増加などにもかかわらず、当 9ヶ月累計期間の基礎純利益グループ帰属分は高い水準(32 億 6,400 万ユーロ)
- 年換算基礎 ROTE⁷は 11.3%、全ての事業部門で高い収益性

活発な営業活動により、基礎収益が前年同期比で増加(四半期では 4.9%増、9ヶ月累計期間では 1.8%増)

- 資産運用部門、保険部門、ウェルス・マネジメント部門、資産運用サービス部門での一連の資金流入。アムンディでは記録的な資金流入額(純額)
- 損害保険部門は当四半期にフランス市場を上回る実績(保険料は前年同期比 6.8%増)、顧客のクロスセル・レートの上昇(前年 9 月時点と比べて地域銀行は 1.5 ポイント増、LCL は 1.2 ポイント増)
- 融資と顧客貯蓄の持続的成長、クロスセル・レートの上昇、リテール・バンキング部門における顧客獲得の勢いの持続(2018 年末以降で個人客が 21 万人増(地域銀行で 15 万 6,000 人増、LCL で 4 万人増、CA イタリアで 1 万 6,000 人増))
- 自動車ローン提携事業が好業績を達成し、持分法適用利益を創出
- 資本市場での営業活動拡大、ユーロ圏のシンジケートローン市場が低迷する中で商業銀行部門はポジションを維持

非常に大きな乖離効果(340 ポイント増)とコスト比率の改善

- 基礎費用:当四半期は特に国際保険と企業保険の拡大により前年同期比 1.5%増。リテール・バンキング部門と大口顧客部門でのプラスの乖離効果。専門金融サービス部門の費用は安定
- 基礎コスト比率は当四半期が 59.6%(-2.0 ポイント)、当 9ヶ月累計期間が 60.5%(-0.4 ポイント)
- リスク関連費用は 29 ベーシス・ポイントと低水準を維持(CIB の正常化、CACF と CA イタリアで低下)

⁷ ROTE の計算については 29 ページを参照:当グループの正味持分から直接控除される AT1 クーボンを考慮して、IFRIC 第 21 号に関連する費用を修正再表示せずに計算した年換算率。同じ手法を用いて計算される各部門及び事業の RONE。

当四半期も確認された財務面の堅牢性

- CET1 レシオは 9 月/6 月で 0.1 ポイント増の 11.7%で、各事業部門のリスク・ウェイト資産が安定

2022 年中期計画の実施継続

- リテール・バンキング部門の NPS⁸増加、顧客とのやり取りのデジタル化強化、フランスとイタリアでの活発な顧客獲得(2018 年末以降で個人客が 21 万人増)
- 10 月に 10 億ユーロ規模の非優先シニア・グリーンボンドを発行
- ムーディーズがクレディ・アグリコル S.A.の長期信用格付けを Aa3 に引き上げ

2019 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の財務諸表を検討するため、ドミニク・ルフェーブルを議長とするクレディ・アグリコル S.A.の取締役会が 2019 年 11 月 7 日に開かれました。

2019 年度第 3 四半期の表示純利益グループ帰属分は、前年同期の 11 億 100 万ユーロに対して 11 億 9,900 万ユーロでした。当四半期の特殊要因は、純利益グループ帰属分に 2,800 万ユーロ(純額)の限定的なマイナス影響をもたらしました。なお、2018 年度第 3 四半期には、特殊要因は 3,200 万ユーロの限定的なマイナス影響を与えました。

これらの特殊要因を除いた当四半期の基礎純利益グループ帰属分は、総額 12 億 2,600 万ユーロで、前年同期と比べると 8.2%増でした。

当四半期の 1 株当たりの基礎的利益は、前年同期比 6.3%減の 0.34 ユーロでした。

In €m	Q3-19 stated	Q3-18 stated	Var Q3/Q3 stated	Q3-19 underlying	Q3-18 underlying	Var Q3/Q3 underlying
Revenues	5,031	4,802	+4.8%	5,073	4,834	+4.9%
Operating expenses excl.SRF	(3,025)	(2,998)	+0.9%	(3,025)	(2,979)	+1.5%
SRF	(2)	-	n.m.	(2)	-	n.m.
Gross operating income	2,004	1,804	+11.1%	2,046	1,856	+10.3%
Cost of risk	(335)	(218)	+53.2%	(335)	(218)	+53.2%
Cost of legal risk	-	-	n.m.	-	-	n.m.
Equity-accounted entities	82	78	+5.1%	82	78	+5.1%
Net income on other assets	17	(0)	n.m.	17	(0)	n.m.
Change in value of goodwill	-	-	n.m.	-	-	n.m.
Income before tax	1,769	1,663	+6.3%	1,811	1,715	+5.6%
Tax	(423)	(434)	(2.5%)	(437)	(449)	(2.7%)
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	0	(1)	n.m.	0	(1)	n.m.
Net income	1,346	1,228	+9.6%	1,374	1,265	+8.6%
Non controlling interests	(147)	(128)	+15.6%	(148)	(132)	+12.1%
Net income Group Share	1,199	1,101	+8.9%	1,226	1,133	+8.2%
Earnings per share (€)	0.33	0.35	(6.0%)	0.34	0.36	(6.3%)
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	60.1%	62.4%	-2.3 pp	59.6%	61.6%	-2.0 pp

低金利が続く困難な環境にもかかわらず、クレディ・アグリコル S.A.の各事業部門で活動が拡大しました。

⁸ Institut BVA によって計算され(2019 年度上半期)、プロモーターとデトラクターとの差に相当するネットプロモータースコア。

クレディ・アグリコル S.A.の各事業部門とクレディ・アグリコル・グループのリテール・ネットワーク(特に、クレディ・アグリコル S.A.の各事業部門の商品とサービスを販売する地域銀行)は、貸付、顧客貯蓄、資産と個人客の保護の分野で当四半期も精力的に活動を展開しました。顧客のクロスセルが拡大し、このことは、当グループの顧客重視型ユニバーサル銀行モデルの収益面の相乗効果を通じた有機的成長の可能性を反映しています。

- ー 貯蓄/退職保険部門では、当四半期の保険料収入が前年同期比 13.9%増の 68 億ユーロとなりました。2019 年 9 月 30 日時点の退職貯蓄への資金流入額(純額)は、前年同期比 20%増の 24 億ユーロに達しました。ユニット・リンク型保険契約の資金流入額は、前年同期比 7.5%増の 13 億ユーロ(合計資金流入額(純額)の 54%、総流入額の 29.2%)でした。残高に占めるユニット・リンク型保険の割合は、1 年間で 0.7 ポイント増の 22.4%に達しました。クレディ・アグリコル・アシュアランスは、ここ数年間で低金利環境に合わせて戦略を練り直し、こうした状況に対応する上で柔軟性を高めています。2019 年 9 月末時点の保険契約者配当準備金(「PPE」)は、2018 年 12 月時点と比べて 9 億 4,800 万ユーロ増の 108 億ユーロとなりました。これはユーロ建て契約残高の 5.2%に相当し、フランス市場の平均を上回る引当水準です。クレディ・アグリコル・アシュアランスはまた、UL 保険と保険契約者の利益配当の下降傾向への対応策も採用しています。
- ー **損害保険部門**では、クレディ・アグリコル・アシュアランスは、フランス(前年同期比 6.8%増)とイタリア(前年同期比 12%増)での力強い成長を主な要因として前年同期比 6.8%増の保険料の伸びにより、当四半期にフランス市場を上回る業績を維持しました。クレディ・アグリコル・アシュアランスは、当四半期に保険契約の 14 万 8,000 件の純増を記録し、契約件数は 2019 年 9 月末時点でおおよそ 1,400 万件となりました。LCL ネットワークでは、個人客⁹のクロスセル・レートが増加しました(2019 年 9 月末時点では、前年 9 月以降 1.2 ポイント増の 24.7%)。クロスセル・レートは、地域銀行でも増加しました(2019 年 9 月末時点で前年同時期から 1.5 ポイント増の 37.4%)。コンバインドレシオは、2019 年の寒波/雹と干ばつによる保険請求にもかかわらず、前年同時期から 0.1 ポイント改善して 95.5%でした。死亡・高度障害保険/債権者保険/団体保険部門では、3 つの全ての事業部門の成長により、当四半期の収益が前年同期比 9.2%増のおおよそ 9 億 8,400 万ユーロに達しました。
- ー **資産運用部門(アムンディ)**は、当四半期に 427 億ユーロ増という記録的な資金流入額(純額)を計上しました。これに寄与したのは、中長期資産(合弁会社とグループ外販売会社によるリテール部門の流入額回復に伴う+253 億ユーロ)とトレジャリー商品(機関投資家顧客と法人顧客の回復による+174 億ユーロ)でした。19 年 9 月末時点の運用資産は、グローバル環境の不確実性が続いているにもかかわらず、1 兆 5,630 億ユーロ(前年同時期と比べて 5.9%増)に達しました。
- ー **リテール・バンキング部門**は、住宅ローン(9.1%増)とスモール・ビジネス及び法人市場(9.9%増)が寄与したフランスの LCL(2018 年 9 月末時点と比べて 9.2%増)に加えて、個人向けと法人向けの貸付(それぞれ 5.5%増と 6.1%増)がけん引したイタリアの CA イタリア(3.1%増)で貸付が高い伸び率となり、引き続き好業績を見せています。LCL の資金流入額は、オン・バランスシート預金(非課税貯蓄性預金の 12.4%増と要求払預金の 10.7%増を含めて 10%増)だけでなく、オフ・バランスシート預金(2%増)がけん引役となり前年比 6.6%増でした。イタリアでの資金流入額は、市場が低迷する中でのオフ・バランスシート預金の実績(4.4%増)とオン・バランスシート預金の安定が寄与して、緩やかに増加しました(1.9%増)。顧客獲得については、LCL(年初以降の個人客、SME、スモール・ビジネス顧客の 4 万 9,000 人増と 4 月の LCL Essentiel 導入以降の 1 万 4,000 人の顧客増)と CA イタリア(年初以降の個人客の 1 万 6,000 人増)で顧客の純増が続いています。ク

⁹ クロスセル・レート:最低でも 1 件の保険商品を保有するバンキング部門の個人客の比率(パシフィカの試算値)。対象範囲:自動車、住宅、健康、生命・傷害、及び法的保護の各保険。

ロスセル・レートは持続的に上昇しています(LCLの総合住宅・自動車・健康保険契約の7.7%増と、CA イタリアの前年比での損害保険契約件数の22%増とクロスセル・レートの1.6ポイント増)。

- **専門金融サービス部門**では、CA コンシューマー・ファイナンスの管理消費者金融が、2018年9月末時点と比べて5.4%増の総額906億ユーロとなりました。これをけん引したのは、クレディ・アグリコル・グループの地域銀行(6.8%増)と自動車ローン提携事業(6.7%増)でした。当四半期のローン組成は、前年同期と比べて安定的な106億ユーロでした。CAL&Fの活動は、ファクタリングとリースの双方で活発でした。企業向けファクタリングの組成は、特にフランス国外で好ましい水準(10億ユーロ)にあり、また、フランスでの商業リースの組成は前年同期比32%増でした。
- **大口顧客部門**の活動は全般的に好調で、収益は当四半期(前年同期比6.3%増)と当9ヶ月累計期間(同2.4%増)で拡大しました。資本市場及び投資銀行部門(FICC)からの当四半期の基礎収益は、ほぼ全ての商品ラインでの強力な営業活動とアドバイザー取引の好転を主な要因として急増しました(前年同期比21.6%増)。ストラクチャード・ファイナンスが当四半期に好業績を記録する一方(5.9%増)、商業銀行部門の収益は、大型取引のない低調な環境(EMEA圏でのシンジケートローン¹⁰は前年比25%減)の悪影響を受けました(9.9%減)。それでも、当部門はEMEA圏でのシンジケートローンで首位を維持しています¹¹。最後に、資産運用サービス部門(CACEIS)は、既存顧客を対象とした持続的な営業活動と新規顧客の囲い込みによって、当四半期のカストディー資産(前年同期比16.4%増の3兆1,440億ユーロ)と資産管理(前年同期比13.3%増の2兆230億ユーロ)が記録的水準となりました。

2019年6月6日の当グループの中期計画発表時に概説した戦略に従って、アムンディ、CA コンシューマー・ファイナンス、及びCACEISは、当四半期も欧州とアジアで当グループ以外の提携事業を拡大しました。

- 当四半期は、2018年3月7日のCA コンシューマー・ファイナンスと**バンキア**の間で調印された提携事業の結果として、SoYouの初の連結対象化が行われました。SoYouは2019年10月10日、金融信用機関として営業することをスペインの経済省より承認されました。
- **KASバンク**の全株式資本を対象にCACEISが7月26日に実施した友好的な株式公開買い付けの後、KASバンクは、2019年9月30日時点のCACEISの財務諸表で連結化されました。これは、オランダでの自らの地位と保険会社及び年金基金から成る顧客基盤に対応する能力を高めることで、欧州全体に及ぶ自らの野心を明確にするものです。この買収は、その大きな潜在的相乗効果によって価値を創造するでしょう。
- CACFはまた、折半出資合弁事業を2024年12月31日まで延長する契約を、2019年7月19日に**フィアット・クライスラー・オートモービルズ(FCA)**と結びました。

これらの契約に加えて、**2019年初頭以降には以下のような動きが発表されました。**

- クレディ・アグリコル S.A.とサンタンデルは4月17日、それぞれのカストディー事業部門と資産運用サービス事業部門の合併を発表しました。両社はこの合併後、「CACEIS」の名称を維持する新会社の持分をそれぞれ69.5%、30.5%保有し、スペイン及び中南米(ブラジル、メキシコ、コロンビア)のCACEISとサンタンデル・セキュリティーズ・サービスズ(「S3」)の事業を統合します。この新会社は、規模拡大とこの地域での存在感の高まりによる競争的地位の向上で利益を得るでしょう。これにより、潜在性の高い市場(中南米とアジア)で成長を達成する上で好位置に立てるでしょう。この合併は2019年末までに完了する見込みです。

¹⁰ EMEA圏に関してはトーマス・ロイター。

¹¹ 出典:レフィニティブ。

- CACIB は 4 月 29 日、**バンク・サウジ・フランジ**(BSF)に対する持分 4.9%を、リップルウッド率いるコンソーシアムに売却する取引を完了しました。これにより、CACIB の BSF に対する持分は 10%まで低下し、また、持分の 6%に対する新株引受権行使を前提とすると、今年末には 4%まで低下します。この取引の影響は、再分類される可能性のない持分という形で第 2 四半期に直接計上されました。
- CA コンシューマー・ファイナンスは 2019 年 6 月 28 日、世界規模の提携関係を強化するために**バンコ BPM** (イタリア第 3 位の銀行)との最終契約に調印しました。これにより、商業関係がバンコ BPM の支店網全体に拡大され(プロファミリーの銀行業務部門の取得を含む)、契約期間が 15 年延長されます。
- クレディ・アグリコル・アシュアランスと**アバンカ**は 7 月 8 日、30 年の期間でスペインとポルトガルを市場とする損害保険会社を設立する提携事業契約を結びました。この契約は、技術ソリューションと異なる顧客経験をベースに革新的商品を市場に提案する折半出資の合弁会社設立を定めています。この提携では、顧客基盤に関するアバンカの知識と、欧州の保険市場でクレディ・アグリコル・アシュアランスが培った専門知識を組み合わせることになります。欧州委員会は、2019 年 10 月 28 日に合弁会社設立を承認しました。

特殊要因は、当四半期の純利益グループ帰属分に 2,800 万ユーロ(純額)の限定的なマイナス影響を及ぼしました。特殊要因に含まれるのは、DVA(債務評価調整。当グループの発行体スプレッドの変動に関連する金融商品の損益)が純利益グループ帰属分の-200 万ユーロ、大口顧客部門のローンブック・ヘッジが同-100 万ユーロ、住宅購入貯蓄プラン引当金が同-500 万ユーロ、及びフランスのリテール・バンキング部門とコーポレート・センターの純利益グループ帰属分のそれぞれ-2,000 万ユーロなど変動の大きい経常的な会計項目だけです。前年同期の特殊要因は、**純利益グループ帰属分に 3,200 万ユーロ(純額)の限定的なマイナス影響**をもたらし、その内訳はアムンディのパイオニア・インベストメンツ統合費用の 600 万ユーロ(税引前及び非支配持分控除前では-1,200 万ユーロ)、イタリア 3 行の統合費用の 400 万ユーロ(税引前及び非支配持分控除前では-700 万ユーロ)、及び変動の大きい経常的な会計項目からの純利益グループ帰属分の-2,300 万ユーロの残高(純額。すなわち、DVA が-600 万ユーロ、大口顧客部門のローンブック・ヘッジが-1,000 万ユーロ、住宅購入貯蓄プラン引当金の変動分の-700 万ユーロ)でした。

各事業部門は、当四半期に大きな業績を達成しました。各事業部門¹²の**基礎純利益グループ帰属分**は、全ての部門がこの伸びに寄与することで 6.8%増加しました。アセット・ギャザリング部門の寄与分は 2.5%増の 5 億 200 万ユーロで、保険部門とアムンディについては純利益グループ帰属分は堅調を維持しました。大口顧客部門は、特に資本市場が好調で、CIB のリスク関連費用戻入れにもかかわらず、純利益グループ帰属分は 12.8%増の 4 億 7,800 万ユーロでした。リテール・バンキング部門の寄与分は、6.0%増の 2 億 5,100 万ユーロでした。フランスのリテール・バンキング部門は営業総利益が好調を維持し、また、CA イタリアは自らの寄与分の 24.0%増を記録しました。専門金融サービス部門の自動車ローン提携事業の好業績により、持分法適用利益が生まれました(2018 年度第 3 四半期から当四半期までで 17.8%増の寄与)。

当四半期の**基礎収益**は、活発な営業活動が寄与して、困難な低金利環境が長引いているにもかかわらず 4.9%増の 50 億 7,300 万ユーロでした。これは、アセット・ギャザリング部門の収益増大(アムンディの記録的な資金流入と損害保険事業がフランス市場を上回る実績を記録したことが寄与して 3.8%増)に加えて、大口顧客部門の業績(資本市場の勢いとユーロ圏の低迷を受けたシンジケートローン市場での商業銀行部門のポジションの維持を理由とした 6.3%増)に主に帰せられます。コーポレート・センターを除く全ての事業部門の基礎収益は、当四半期に 3.1%増加しました。

このようなプラスの収益傾向は、**適切な費用抑制**を伴うものでした。**SRF を除いた当四半期の基礎営業費用**は前年

¹² コーポレート・センターを除く。

同期比 **1.5%増**に抑制され、これにより、+340 ベーシスポイントという**非常に大きな乖離効果**を実現しました。それでも、2018 年度第 3 四半期から当四半期までに費用がわずかに 2.9%増となる中で、全ての事業部門で事業開発が続いています。特にアセット・ギャザリング部門は、国際保険と企業保険の拡大を反映して費用が増大しました。リテール・バンキング部門は、大口顧客部門の 240 ベーシスポイントと同様に、LCL が 90 ベーシスポイント、国際リテール・バンキング部門が 140 ベーシスポイントとなってプラスの乖離効果を記録しました。専門金融サービス部門の費用は、当四半期を通じて安定的でした。当四半期の**基礎コスト比率**は、2 ポイント改善して 59.6%となりました。

したがって、当四半期の**基礎営業総利益**は前年同期比 **10.3%増**でした。

当四半期の**リスク関連費用**は、前年同期の 2 億 1,800 万ユーロに対して 53.2%(1 億 1,700 万ユーロ)増の 3 億 3,500 万ユーロでした。これは主に、法人営業及び投資銀行部門の信用リスク関連費用戻入れによるもので、前年同期は 5,200 万ユーロの引当金戻入れ(純額)を計上したものの、当四半期は 4,800 万ユーロ(純額)の費用(すなわち 1 億万ユーロの差)を計上しました。同じ理由から、**当四半期**は、残高に対する**リスク関連費用**¹³が正常水準に戻りました。これは、2018 年度第 3 四半期と比べて 4 ベーシスポイント増、前四半期比で 4 ベーシスポイント増の **29 ベーシスポイント**でした(但し、低水準を維持しています)。リスク関連費用に最も寄与した他の 3 部門は、非常に限定的ではありますが、対照的な動きを見せています。すなわち、LCL のリスク関連費用は 15.5%増の 5,800 万ユーロでしたが、残高に対するリスク関連費用は 17 ベーシスポイント(前四半期比 1 ポイント増)と低水準でした。CA イタリアは、残高に対するリスク関連費用が引き続き改善して 12.0%減と急減して、(前年同期の 73 ベーシスポイント、前四半期の 62 ベーシスポイントから)59 ベーシスポイントに上昇しました。最後に、CACF は前年同期比 3.8%減の 1 億 2,100 万ユーロを計上し、残高に対するリスク関連費用は 120 ベーシスポイントまで低下しました。

当四半期の**持分法適用会社の寄与分**は、特に CA コンシューマー・ファイナンスの提携事業の好業績(前年同期比 17.8%増)を反映して **5.1%増**の 8,200 万ユーロと急増しました。

当四半期の**他の資産に関する純利益**は、ウェルス・マネジメント部門の一度限りの不動産取引の結果、**1,700 万ユーロ**でした。したがって、**非継続事業と非支配持分の控除前の税引前基礎利益**¹⁴は **5.6%増**の 18 億 1,100 万ユーロでした。基礎的実効税率は、特に当四半期のクレディ・アグリコル CIB の税金紛争で有利な判断が下された結果、2018 年度第 3 四半期と比べて 2.2 ポイント減の 25.3%でした。これにより、基礎税金費用は 2.7%減の 4 億 3,700 万ユーロとなり、**少数株主持分控除前の基礎純利益**は **8.7%増加**しました。

非支配持分に帰せられる純利益は、主に基礎的実績の推移に従う形で **12.1%増**の 1 億 4,800 万ユーロでした。

当四半期の**基礎純利益グループ帰属分**は、前年同期比 **8.2%増**の **12 億 2,600 万ユーロ**でした。

2019 年度 9 カ月累計期間の表示純利益グループ帰属分は、前年同期の 33 億 9,300 万ユーロから 6.2%減の 31 億 8,300 万ユーロでした。

当 9 カ月累計期間の特殊要因は、表示純利益グループ帰属分に **8,100 万ユーロ**のマイナス影響を及ぼしました。上述した当四半期の特殊要因に加えて、2019 年度上半期の特殊要因は 2,000 万ユーロのマイナス影響を及ぼすと共に、変動の大きい経常的な会計項目(DVA が-300 万ユーロ、大口顧客部門のローンブック・ヘッジが-600 万ユーロ、住宅購入貯蓄プランの変動分が-1,200 万ユーロ)にも一致しています。**2018 年度 9 カ月累計期間の特殊要因**は、純利益グループ帰属分に 5,400 万ユーロのプラス影響を及ぼしました。上述した 2018 年度第 3 四半期の特殊要因と比べて、これらの特殊要因は、2018 年度上半期の純利益グループ帰属分に 8,700 万ユーロのプラス影響を与え

¹³ 過去のローリング 4 四半期を対象とした貸倒引当金の年換算平均。

¹⁴ クレディ・アグリコル S.A.に関連する特殊要因の詳細については 17 ページを参照。

ました(すなわち、イタリアの3行を取得したときに計上した負ののれんの金額調整(総額+6,600万ユーロ)、パイオニア・インベストメンツの統合費用の800万ユーロ(税引前及び非支配持分控除前で1,800万ユーロ)、及び経常的な特殊要因(すなわち、DVAが+1,100万ユーロ(税引前で+1,500万ユーロ)と大口顧客部門のローンブック・ヘッジが+1,400万ユーロ(税引前で+2,000万ユーロ))。

これらの特殊要因を除いた当9カ月累計期間の**基礎純利益グループ帰属分**は、前年同期比2.2%減の**32億6,400万ユーロ**でした。

当9カ月累計期間の1株当たりの**基礎的**利益は、前年同期比**8.6%減**の**0.97ユーロ**でした。

追加ティア1債券のクーポンを除いた年換算**ROTE¹⁵**(無形資産を除いた株主資本グループ帰属分利益率)は、**当9カ月累計期間**については2018年度(13.1%)を下回る**11.3%**でした。

In €m	9M-19 stated	9M-18 stated	Var 9M/9M stated	9M-19 underlying	9M-18 underlying	Var 9M/9M underlying
Revenues	15,034	14,882	+1.0%	15,155	14,880	+1.8%
Operating expenses excl.SRF	(9,161)	(9,073)	+1.0%	(9,161)	(9,053)	+1.2%
SRF	(340)	(302)	+12.5%	(340)	(302)	+12.5%
Gross operating income	5,534	5,507	+0.5%	5,654	5,525	+2.3%
Cost of risk	(917)	(755)	+21.4%	(917)	(755)	+21.4%
Cost of legal risk	-	(5)	(100.0%)	-	-	n.m.
Equity-accounted entities	275	248	+11.0%	275	248	+11.0%
Net income on other assets	39	32	+21.8%	39	32	+21.8%
Change in value of goodwill	-	86	(100.0%)	-	-	n.m.
Income before tax	4,931	5,113	(3.5%)	5,052	5,050	+0.0%
Tax	(1,302)	(1,244)	+4.7%	(1,340)	(1,250)	+7.2%
Net income from discont'd or held-for-sale ope.	8	(3)	n.m.	8	(3)	n.m.
Net income	3,637	3,866	(5.9%)	3,720	3,797	(2.0%)
Non controlling interests	(454)	(473)	(4.1%)	(455)	(459)	(0.7%)
Net income Group Share	3,183	3,393	(6.2%)	3,264	3,338	(2.2%)
Earnings per share (€)	0.94	1.08	(12.8%)	0.97	1.06	(8.6%)
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	60.9%	61.0%	-0.0 pp	60.5%	60.8%	-0.4 pp

当9カ月累計期間の業績は、好調な事業の伸び、費用増大の抑制(40ベース・ポイントのプラスの乖離効果)、及びリスク関連費用を非常に低い水準に維持したことが寄与して2.5%増でした。コーポレート・センターのマイナスの寄与(前年同期の-5億1,500万ユーロに対して-6億8,300万ユーロ)は、高い水準だった2018年度実績と比べて、「構造的」純利益を除きこの部門の要素が悪化したためでした。

当9カ月累計期間の**基礎収益**は、専門金融サービス部門を除く全ての部門の成長にプラスに寄与して、前年同期比**1.8%増**でした。消費者金融の環境は、フランスで最も競争圧力の高いものであり、また、消費者金融部門は、当9カ月累計期間を通じて(顧客獲得費用の増加となる)新規提携事業に乗り出しました。自動車ローン提携事業が非常に好調だったのは、持分法を適用したためです。リースとファクタリングの部門は、特にリース活動の力強い趨勢により安定的でした。大口顧客部門の収益は微増でした(2.4%増)。

当9カ月累計期間の**基礎営業費用**は、SRF 拠出金を除くと**1.2%増**でした。この費用抑制は、当期間を通じて60ベ

¹⁵ 各事業部門のROTE(有形株主資本利益率)及びRONE(調整株主資本利益率)の計算の詳細については29ページを参照。

ーシス・ポイントのプラスの乖離効果につながりました。事業部門だけを見ると、SRFを除いた営業費用は1.6%増で、これは、事業開発に関連する費用が増加したアセット・ギャザリング部門と大口顧客部門に主に集中していました。**SRFを除いた当四半期の基礎コスト比率は、第1四半期のIFRIC第21号に関連する費用を含めて60.5%となり、これは前年同期比で0.4ポイントの改善でした。**

最後に、当9カ月累計期間の**信用リスク関連費用**は、前年同期比21.4%/1億6,200万ユーロ増の9億1,700万ユーロでした。この増加の主な要因は、(2018年9月末時点の3,800万ユーロの戻入れ(純額)に対して2019年9月末時点では1億500万ユーロのリスク費用を計上した)大口顧客部門と、当9カ月累計期間に計上された一度限りの引当金に由来するファイナンス事業です。

2019年9月末時点のクレディ・アグリコル S.A.のソルベンシーは、**普通株式ティア1(CET1)レシオ¹⁶が2019年6月末時点と比べて0.1ポイント増の11.7%となったこと**で高い水準を維持しています。**当四半期の各事業部門の有機的风险・ウェイト資産は安定的でした(8億ユーロ増)**。リスク・ウェイト資産は、2019年6月末時点の3,230億ユーロに対して9月末時点では2.1%増の3,300億ユーロでした。各事業部門のリスク・ウェイト資産が安定していたにもかかわらず(8億ユーロ増)、この増加は主に、含み益に関連するリスク・ウェイト資産の増加と当四半期中の保険各社の業績の算入(総額で33億ユーロ増)、為替レートの影響(18億ユーロ増)、CACEISによるKasバンクの買収(8億ユーロ増)によって説明することができます。なお、保険会社への持分投資は、リスク・ウェイト資産を基礎として重み付けられました(持分法適用価額の最大370%)。

CET1レシオに関しては、当四半期中の資本生成(当四半期及び当9カ月累計期間の配当引当金(0.17ユーロと0.47ユーロ)を含めて+17ベース・ポイント)と未実現準備金のプラス変動(+8ベース・ポイント)は、持分法適用価額(-5ベース・ポイント)を通じた保険事業の実績増の影響により相殺されました。これ以外に、CACEISによるKasバンクの買収の影響(-3ベース・ポイント)、為替レートの影響(-1ベース・ポイント)、従業員を対象に引き当てられた増資のプラス影響(+5ベース・ポイント)が、当四半期のクレディ・アグリコル S.A.のCET1に及びました。

段階適用レバレッジ・レシオは、欧州委員会が採択した委任法令に定めるように2019年9月末時点で**4.3%**でした。当四半期中の平均段階適用レバレッジ・レシオ¹⁷は4.0%でした。

クレディ・アグリコル S.A.の過去12カ月間の平均LCR(流動性カバレッジ比率)は、2019年9月末時点で131.7%¹⁸となり、中期計画に定めるおよそ110%という目標水準を上回っています。

2019年10月末現在、クレディ・アグリコル S.A.は当年度の中・長期市場資金調達プログラムの88%を完了しました。当行は150億ユーロ相当額を調達し、このうち87億ユーロ相当額が優先シニア債と担保付きシニア債、45億ユーロ相当額が非優先シニア債、18億ユーロ相当額がティア2債券でした。2019年度のプログラムは、およそ50億~60億ユーロのTLAC適格債(ティア2債券又は非優先シニア債)を含めて170億ユーロに設定されています。クレディ・アグリコル S.A.が、2019年10月に10億ユーロ規模(上記の金額に含まれています)の非優先シニア・グリーンボンドを発行したことにご注意ください。

* *
*

¹⁶ 2019年度9カ月累計期間の内部留保を含む。

¹⁷ 四半期中のレバレッジとは、当該四半期の最初の2カ月間の月末エクスポージャーの平均を意味する。

¹⁸ この比率の分子と分母は、クレディ・アグリコル S.A.についてはそれぞれ1,851億ユーロ、1,405億ユーロとなった。

フィリップ・ブラサック最高経営責任者は、2019 年度第 3 四半期及び 9 カ月累計期間のクレディ・アグリコル S.A.の業績と事業活動について「クレディ・アグリコル S.A.の業績は、全ての事業部門での活発な営業活動の結果、当四半期には8.9%増と急拡大しました。これに伴い、当グループは今年、フランスとイタリアで21万人の新規顧客を獲得し、当グループの顧客のクロスセル・レートは上昇を続けました。これは、特に子会社間での相乗効果を通じた当グループの有機的成長の可能性を反映しています。現在、特に国際保険と企業保険の分野でわれわれは事業開発投資を行っていますが、当四半期に非常に大きな乖離効果とコスト比率の改善から明らかなように、営業効率は引き続き改善しています。最後に、リスク関連費用は非常に低い水準を維持しています。格付け機関は、関係性と事業運営の面での卓越性を基盤とするわれわれのモデルの強みを認識しています。ムーディーズは、われわれの追加ティア 1 債券が「投資適格」であることを考慮して、当四半期に CAsa の中長期信用格付けを Aa3 に引き上げました。われわれの財務面の堅牢性は当四半期も確認されています。すなわち、クレディ・アグリコル S.A.の CET1 レシオによって、われわれの配当方針が確かなものになり、2020 年の Switch の初回解除を可能にしています」とコメントしました。

クレディ・アグリコル・グループ

クレディ・アグリコル・グループの当四半期の基礎純利益グループ帰属分は、前年同期比 6.0%増の 19 億 2,400 万ユーロでした。当グループの 2019 年度 9 カ月累計期間の基礎純利益グループ帰属分は、前年同期と比べてほぼ横ばいの 52 億 500 万ユーロでした。

この業績は、全ての事業部門の非常に活発な営業活動と顧客プロジェクトの実施が寄与して達成されました。地域銀行の MaBanque モバイルアプリの利用が 2.5 ポイント増、今年初頭より LCL のモバイルアプリの利用が 3 ポイント増を記録したことで、顧客とのやり取りのデジタル化が進んでいます。CA イタリアでは、オンライン取引の割合が 6 ポイント増加しました。地域銀行の個人客の NPS¹⁹は、フランスの市場平均が-1 であるのに対してプラスとなったことで、2019 年は顧客満足度が改善しました。地域銀行と LCL では個人客の NPS がそれぞれ+5、+8 と急上昇しました。「アクティブ」DAV²⁰の割合が上昇したことで、地域銀行の顧客関係が強化されています。今年初頭から新たに 21 万人の個人客獲得(地域銀行が 15 万 6,000 人、LCL が 4 万人、CA イタリアが 1 万 5,000 人)など、買収があらためて活発になりました。地域銀行の 34 万 2,000 人の顧客は、1 年前に開始された「Trajectoires Patrimoine」の中で達成されました。最後に、顧客クロスセルは、地域銀行については損害保険の 1.5 ポイント増、LCL については 1.2 ポイント増、CA イタリアについては 1.6 ポイント増と成長を続けています。

当四半期の地域銀行の収益は、特にバンキング及び保険部門で手数料収入の伸び(3.4%増)が好調だったため、前年同期と比べて安定的でした。当四半期の費用は、IT 投資を主な理由として前年同期比 3.4%増でしたが、基礎純利益グループ帰属分は当四半期に急増しました(2.7%増)。これは特に、一般引当金の影響を受けた前年同期と比べて当四半期はリスク関連費用が大幅減となったためです。

当四半期の当グループの基礎収益は、前年同期比 2.9%増の 83 億 3,100 万ユーロでした。これは、特に専門事業部門と販売ネットワークの収益面の相乗効果が寄与して、安定的且つ多様で、全ての事業部門で有機的成長をもたらす顧客重視型ユニバーサル銀行モデルの強みを反映しています。SRF を除いた営業費用は、地域銀行の IT 投資と CAsa の事業部門(特にアセット・ギャザリング部門)の開発投資を組み入れながらも、十分に抑制されました(当四半期は 2.7%増)。当四半期の乖離効果は、前年同期比では 20 ベーシス・ポイントのプラスを記録しました。当四半期のコスト比率は、当グループの高い水準の営業効率を反映して、前年同期から 0.1 ポイント改善して 62.7%でした。

地域銀行の残高に対する信用リスク関連費用は、NPL レシオが 2.0%、NPL 引当率が 97.3%となったことで、12 ベーシス・ポイントで安定を維持しています。当四半期における当グループの信用リスク関連費用は、CIB のリスク関連費用戻入れの結果、前年同期比で 18.9%増となりましたが、引き続き非常に低い水準にあります。NPL 引当率は 83.5%に達しました。

当グループの普通株式ティア 1 レシオは、2019 年 6 月末時点と比べて同年 9 月末時点では 0.1 ポイント増の 15.5%でした。これは規制により義務付けられる水準を 580 ベーシス・ポイント上回っています。²¹

最後に、当グループは、10 月に 10 億ユーロ規模の非優先シニア・グリーンボンドを発行したことで、自らの社会プロジェクトを引き続き展開しています。

当四半期のクレディ・アグリコル・グループの表示純利益グループ帰属分は、前年同期の 17 億 6,900 万ユーロに対して 18 億 4,900 万ユーロでした。当四半期の特殊要因は、純利益グループ帰属分に 7,600 万ユーロ(純額)のマイ

¹⁹ 独立機関である Institut BVA によって計算され(2019 年度上半期)、プロモーターとデトラクターとの差に相当する顧客推奨指数。

²⁰ DAV の割合(大口個人客の範囲)としてのアクティブ DAV とトランザクショナル DAV(120 取引/月)の増加。

²¹ ECB が通知した 2019 年の暫定 SREP 要件である 9.7%に準拠(カウンターシクリカル・バッファを含む)。

ナス影響をもたらしました。

これらの特殊要因を除いた当四半期の**基礎純利益グループ帰属分**²²は、前年同期比 6.0%増の **19 億 2,400 万ユーロ**でした。

クレディ・アグリコル・グループ — 表示実績と基礎的実績 (2019 年度第 3 四半期と 2018 年度第 3 四半期)						
In €m	Q3-19 stated	Q3-18 stated	Var Q3/Q3 stated	Q3-19 underlying	Q3-18 underlying	Var Q3/Q3 underlying
Revenues	8,216	8,043	+2.2%	8,331	8,097	+2.9%
Operating expenses excl.SRF	(5,220)	(5,102)	+2.3%	(5,220)	(5,083)	+2.7%
SRF	-	-	n.m.	-	-	n.m.
Gross operating income	2,997	2,940	+1.9%	3,111	3,014	+3.2%
Cost of risk	(384)	(323)	+18.9%	(384)	(323)	+18.9%
Cost of legal risk	-	-	n.m.	-	-	n.m.
Equity-accounted entities	85	77	+10.0%	85	77	+10.0%
Net income on other assets	18	2	x 10.8	18	2	x 10.8
Change in value of goodwill	-	-	n.m.	-	-	n.m.
Income before tax	2,715	2,696	+0.7%	2,830	2,770	+2.2%
Tax	(748)	(816)	(8.4%)	(787)	(839)	(6.2%)
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	0	(1)	n.m.	0	(1)	n.m.
Net income	1,968	1,879	+4.7%	2,043	1,930	+5.9%
Non controlling interests	(119)	(110)	+7.9%	(119)	(115)	+3.8%
Net income Group Share	1,849	1,769	+4.5%	1,924	1,815	+6.0%
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	63.5%	63.4%	+0.1 pp	62.7%	62.8%	-0.1 pp

当四半期の**基礎収益**は、前年同期比 **2.9%増**の 83 億 3,100 万ユーロでした(コーポレート・センターを除いた各事業部門については 1.8%増)。この伸びは、3.1%増となったアセット・ギャザリング部門、4.4%増となった国際リテール・バンキング部門、6.2%増となった大口顧客部門の収益にけん引されたものです。専門金融サービス部門の収益は 2.7%減少しましたが、自動車ローン提携事業の好業績は持分法の適用によるものでした。フランスのリテール・バンキング部門の収益は 0.2%増と横ばいでした。

SRF 拠出金を除いた当四半期の基礎営業費用は、中期計画に基づく地域銀行の IT 投資とクレディ・アグリコル S.A. の各事業部門(特にアセット・ギャザリング部門)の開発費用に関連して、前年同期比で **2.7%増加**しました。**SRF を除いた当四半期の基礎コスト比率**は、前年同期から **0.1 ポイント改善**して **62.7%**でした。

当四半期の**基礎営業総利益**は、SRF 拠出金を含めて前年同期比 3.2%増の 31 億 1,100 万ユーロでした。

当四半期の**信用リスク関連費用**は、前年同期の 3 億 2,300 万ユーロに対して 18.9%増の 3 億 8,400 万ユーロでした。この増加は、前年同期が 5,700 万ユーロの戻入れ(純額)だったのに対して 4,500 万ユーロの引当(純額)となったことで信用リスク関連費用が正常水準に戻つつある大口顧客部門に主に帰せられます。クレディ・アグリコル・グループの**残高に対するリスク関連費用**²³は、前年同期比 2 ベーシス・ポイント増の **20 ベーシス・ポイント**でしたが、25 ベーシス・ポイントという中期計画の想定を下回っています。

CACF の自動車ローン提携事業の好業績を受けて 7,700 万ユーロから 10.0%増の 8,500 万ユーロとなった持分法適用会社の寄与分を組み入れると、当四半期の**税引前基礎利益**は、前年同期比 2.2%増の 28 億 3,000 万ユーロで

²² 特殊要因を除いた基礎的なもの(特殊要因の詳細については 19 ページ以降を参照)。

²³ 過去のローリング 4 四半期を対象とした年換算平均貸倒引当金。

した。

当四半期の**基礎税金費用**は、基礎税率が 31.1%から 28.7%へと 2.5 ポイントの急減となり、前年同期比では **6.2%減少**しました。したがって、非支配持分控除前の基礎純利益は前年同期比 5.9%増、また、基礎純利益グループ帰属分は同 6.0%増でした。

当四半期の**特殊要因**は、純利益グループ帰属分に 7,600 万ユーロ(純額)のマイナス影響を及ぼしました。特殊要因には、DVA(債務評価調整。すなわち、当グループの発行体スプレッドの変動に関連する金融商品の損益)の-200 万ユーロ、大口顧客部門のローンブック・ヘッジの-100 万ユーロ、住宅購入貯蓄プラン引当金の変動分の-7,200 万ユーロなど変動の大きい経常的な会計項目の正味残高のみが含まれています。**2018 年度第 3 四半期**の特殊要因は、純利益グループ帰属分に 4,600 万ユーロのマイナス影響を及ぼしました(これに含まれるのは、パイオニア・インベストメントの統合費用(-600 万ユーロ。税引前及び少数株主持分控除前では-1,200 万ユーロ)、イタリアの 3 行の統合費用(-300 万ユーロ。税引前及び少数株主持分控除前では-700 万ユーロ)に加えて、変動の大きい経常的な会計項目について純利益グループ帰属分の正味残高からの-3,700 万ユーロ(すなわち、DVA(-600 万ユーロ)、大口顧客部門のローンブック・ヘッジ(-1,000 万ユーロ)、及び住宅購入貯蓄プラン引当金変動分の-2,100 万ユーロです)です)。

当 9 カ月累計期間の**基礎純利益グループ帰属分**は、前年同期比で **0.3%**(1,900 万ユーロ)減となる **52 億 500 万ユーロ**とほぼ横ばいでした。法人営業及び投資銀行部門のリスク関連費用の正常化と税金費用の増加(1 億 4,100 万ユーロ)を理由とする信用リスク関連費用の増加(1 億 2,200 万ユーロ)によって、営業総利益の順調な伸び(1 億 6,300 万ユーロ)が消失しました。

基礎純収益は **1.8%増**となり、また、**単一破綻処理基金(SRF)**を除いた**営業費用**は **1.6%増**と引き続き厳格に抑制されています。これにより、当グループは当 9 カ月累計期間に **20 ベーシス・ポイントのプラスの乖離効果**を記録しました。

クレディ・アグリコル・グループ — 表示実績と基礎的実績(2019 年度 9 カ月累計期間と 2018 年度 9 カ月累計期間)						
In €m	9M-19 stated	9M-18 stated	Var 9M/9M stated	9M-19 underlying	9M-18 underlying	Var 9M/9M underlying
Revenues	24,898	24,729	+0.7%	25,188	24,748	+1.8%
Operating expenses excl.SRF	(15,805)	(15,586)	+1.4%	(15,805)	(15,565)	+1.5%
SRF	(426)	(389)	+9.4%	(426)	(389)	+9.4%
Gross operating income	8,667	8,754	(1.0%)	8,957	8,794	+1.9%
Cost of risk	(1,263)	(1,141)	+10.7%	(1,263)	(1,141)	+10.7%
Cost of legal risk	-	(5)	(100.0%)	-	-	n.m.
Equity-accounted entities	273	256	+6.8%	273	256	+6.8%
Net income on other assets	21	39	(46.6%)	21	39	(46.6%)
Change in value of goodwill	-	86	(100.0%)	-	-	n.m.
Income before tax	7,698	7,989	(3.6%)	7,989	7,948	+0.5%
Tax	(2,323)	(2,317)	+0.3%	(2,420)	(2,331)	+3.8%
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	8	(3)	n.m.	8	(3)	n.m.
Net income	5,383	5,669	(5.0%)	5,577	5,614	(0.7%)
Non controlling interests	(372)	(395)	(5.9%)	(372)	(390)	(4.7%)
Net income Group Share	5,012	5,273	(5.0%)	5,205	5,224	(0.3%)
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	63.5%	63.0%	+0.5 pp	62.7%	62.9%	-0.1 pp

2019年9月末時点での地域銀行の顧客獲得は引き続き活発に推移しており、今年初頭以降で15万6,000人の新規個人客を加えました。1年前の「Trajectoires Patrimoine」の開始以降、合計で34万2,000人に到達しています。当グループのプロジェクトに従って、地域銀行は顧客プロジェクトの発足に参加しており、また、顧客関係のデジタル化が進んでいます。今年初頭以降、地域銀行の「MaBanque」アプリの利用者数が2.5ポイント、顧客契約件数が1ポイントそれぞれ増加しました。顧客満足度は、全ての顧客セグメントで上昇しました。特に個人客のネットプロモータースコア(NPS²⁴)は、フランス市場の平均が-1となる中で、2019年には急上昇してプラスとなりました(前年比+5)。地域銀行の事業展開の勢いは、クレディ・アグリコル S.A.の各事業部門の成長に大きく寄与しました。このうち、フランスの主要リテール・バンキング・ネットワークである地域銀行は、リテール・バンキング部門の主要パートナーであり、当グループの顧客重視型ユニバーサル銀行モデルの強みを実証しています。顧客クロスセルは引き続き増大しています。すなわち、個人客のプレミアムカード加入件数が昨年9月から今年9月までで8.7%増加すると共に、損害保険と個人保険が同期間に4.4%増加しました。

ローン残高は、2019年9月30日時点と比べて6.7%増でした。この伸びをけん引したのは、住宅ローン(7.5%増)、消費者金融(6.8%増)、法人向けローン(6.9%増)でした。

当四半期の**顧客貯蓄**は、オン・バランスシート預金(6.0%増)と特に要求払預金(10.1%増)及び非課税貯蓄性預金(11.2%増)がけん引して前年同期比4.6%増でした。オフ・バランスシート預金は、生命保険資産(4.4%増)がけん引して前年同期比2.4%増と控えめな伸びでした。

当四半期のクレディ・アグリコル・グループの**基礎純利益グループ帰属分**に対する地域銀行の寄与分は、前年同期比**2.7%増の6億8,900万ユーロ**でした。基礎収益は、前年同期比0.1%増の**32億4,400万ユーロ**と横ばいでした。この安定性の主な理由は、前年同期比3.4%増を記録した好調な手数料収入の伸びであり(主にバンキングサービスと保険商品)、受取利息への圧力を相殺しました(当四半期は前年同期比で2.7%減)。

当四半期の**営業費用(SRFを除く)**は、当グループの中期計画に基づくIT投資の継続を主に反映して3.4%増加しました。この結果、SRFを除いた基礎コスト比率は66.2%でした。

リスク関連費用は、一般引当金が計上された前年同期(1億1,100万ユーロ)から大幅減となる4,800万ユーロでした。これは、残高をベースとすると12ベース・ポイントに相当します²⁵。NPLレシオは2.0%で安定し、また、NPL引当率は97.3%でした。

当9カ月累計期間の基礎純利益グループ帰属分に対する地域銀行の寄与分は、前年同期比**2.7%増の19億1,700万ユーロ**でした。

クレディ・アグリコル・グループの他の事業部門の業績については、本プレスリリースのクレディ・アグリコル S.A.に関するセクションに詳述されています。

クレディ・アグリコル・グループの財務力は当四半期を通じて堅牢性を維持し、**普通株式ティア1(CET1)レシオ²⁶**は2019年6月末時点と比べて**0.1ポイント増の15.5%**でした。このレシオは、ECBが9.7%に設定し、クレディ・アグリコル・グループに適用されるSREP要件を大きく上回る580%のバッファーを提供します。

MRELレシオは、2019年9月30日時点で**リスク・ウェイト資産(RWA)の32%と推定され、適格優先シニア債を除くと22.2%**でした。クレディ・アグリコル・グループの中期計画目標は、2022年末までにRWAの24~25%の劣後

²⁴ Institut BVA によって計算され(2019年度上半期)、プロモーターとデトラクターとの差に相当するネットプロモータースコア。

²⁵ ローリング4四半期を対象とした年換算平均に基づいて計算した連結残高との比較。

²⁶ 2019年度9ヶ月累計期間の内部留保を含む。

MREL レシオ(潜在的な適格優先シニア債を除く)を達成することです。特定の控えめな修正再表示後の金融機関の負債総額と自己資本の比率(負債総額自己資本-TLOF)として表示される MREL レシオは、適格優先シニア債を除くと 2019 年 9 月 30 日時点で 8.5%でした。これは、このレシオを TLOF の 8%超(破綻処理当局の決定を条件に単一破綻処理基金に対してリコースできる水準)に維持するという中期計画目標に沿ったものです。

欧州規則 CRR2(自己資本要求規則 2)が発効する 2019 年 6 月 27 日以降、TLAC レシオ要件が適用されています。同年 9 月 30 日時点のクレディ・アグリコル・グループの TLAC レシオは、RWA の 22.2%、レバレッジ・リスク・エクスポージャー(LRE)の 7.6%でした(適格優先シニア債を除く)。これは主に、リスク・ウェイト資産の増加、ティア 1 債券の発行停止、CAA が発行したティア 2 の控除に帰せられます。この水準は、RWA については 2.5 ポイント、LRE については 1.6 ポイントと CRR2/CRDV の要件²⁷を依然として大きく上回っています。

段階適用レバレッジ・レシオは、2019 年 9 月末時点で 5.6%でした。

クレディ・アグリコル・グループの流動性ポジションは堅固です。2019 年 9 月 30 日現在の当グループのバンキング部門のバランスシート上の現金は 1 兆 2,890 億ユーロで、安定資産に対する安定資金の超過額(2019 年 6 月末時点と比べて 21 億ユーロ増の 1,180 億ユーロ)を示しており、これは中期計画目標(1,000 億ユーロ超)に従っています。安定資金の超過額は、顧客や顧客関連業務の LCR(流動性カバレッジ比率)要件によって生じた HQLA(高品質流動資産)証券ポートフォリオの資金を賄います。これらの証券(1,100 億ユーロ)は、中央銀行預託分を除いた短期債券を 3 倍以上カバーします。

証券ポートフォリオのキャピタルゲインとヘアーカットを含む流動性準備金は、2019 年 9 月 30 日時点で 2,720 億ユーロでした。12 ヶ月間の当グループの平均 LCR レシオは、2019 年 9 月末時点で 129.4%²⁸となり、およそ 110%という中期計画目標を上回っています。

当グループの主要発行体は 2019 年 9 月末現在、中・長期債によって市場で 289 億ユーロ相当額を調達し、このうちの 45%はクレディ・アグリコル S.A.によって発行されました。更に、クレディ・アグリコル・グループのリテール・バンク(地域銀行、LCL、CA イタリア)と他の外部ネットワークで 32 億ユーロ規模の調達が行われると共に、2019 年 9 月末現在で国際機関との間でも調達が行われました。

* *
*

SAS Rue La Boétie 会長とクレディ・アグリコル S.A.の取締役会議長を務めるドミニク・ルフェーブルは、当グループの 2019 年度第 3 四半期及び 9 ヶ月累計期間の業績と活動について「当 9 ヶ月累計期間を通じて、クレディ・アグリコル・グループの各事業部門は、フランス及び国外で活動を拡大しています。6 月に中期計画を発表したときに定められたわれわれの目的に従って、全てのセグメントで顧客満足度が向上し、また、地域銀行の戦略的推奨指数は、2019 年のフランス市場の数字を上回っています。こうした取り組みの結果、われわれの事業に関しては、全ての活動指標が環境に配慮したものとなっています。また、10 月に 10 億ユーロ規模のグリーンボンドを発行したことで、この分野の世界

²⁷ CRR2 の発効に伴い、クレディ・アグリコル・グループは以下の TLAC 要件を常に満たす必要がある(すなわち、リスク・ウェイト資産の 16%プラス CRDV に従ったコンバインド・バッファ要件(2019 年 9 月 30 日時点で 2.5%の資本保全バッファ、1%のシステミック・バッファ、0.19%のカウンターシクリカル・バッファを含む)、及びレバレッジ・リスク・エクスポージャーの 6%)。

²⁸ このレシオの分子と分母は、CA イタリアに関してはそれぞれ 2,194 億ユーロ、1,696 億ユーロとなった。

的リーダーとしての地位を固めつつあります。卓越した顧客関係、顧客のためのエンパワードチーム、社会への関わりという当グループのユニークなリレーションシップ・モデルの3つの柱は、われわれが置かれている不確実な経済環境の中で価値を創造します」とコメントしました。

企業の社会的・環境的責任

グリーンボンド

グループ・プロジェクトに従って、クレディ・アグリコル S.A.は 2019 年 10 月に、10 億ユーロ規模の非優先シニア・グリーンボンドを発行しました。

持続可能な金融

グリーンボンドでリーダーシップを発揮する一環として、CACIB は、世界各地でソブリン発行体を対象とするプラットフォームを開発しました。これに関して CACIB は、2019 年 5 月に香港で歴史的な 10 億米ドル規模の起債でストラクチャリング・アドバイザーを務めました。この起債は、省エネ技術の開発やエネルギー効率の高い建物の建設などの持続可能なプロジェクトに資金を手当てするものです。更に、CACIB は、8 億 6,100 万ユーロの初のグリーンボンド発行によって 2019 年 7 月にチリを支援しました。これは、欧州以外のソブリン発行体による初のユーロ建て起債です。

2019 年 9 月、Unifergie と CACIB は、8 億ユーロを超える Teneergie の新規事業(フェニックス 5)に伴い、再生可能エネルギーと特にソーラーエネルギーの分野でフランス史上最大の借り換え案件を共同でアレンジしました。Teneergie は、フランス第 2 位の独立系太陽光発電業者で、発電プラントは 800 基を超え、設備容量は 500MWh です。Unifergie、LCL、及び Alpes Provence Regional Bank は、2008 年の設立以来 Teneergie を支援しており、CACIB は既に、2018 年のフェニックス 3 の借換え(2 億 6,200 万ユーロ)に関与しています。2017 年末以降、Teneergie は、エネルギー転換分野での戦略提携のために設立された投資ビークル Terre d'Énergies の 1 部門である CA Pyrénées Gascogne Énergies Nouvelles と提携しています。この融資は、合計設備容量が 255MWh で、11 万世帯に供給している 166 基の太陽光発電プラントと 2 カ所のウインドファームの借り換えを行うものです。クレディ・アグリコル・グループは、CACIB の引受能力と LCL、11 の地域銀行、Bpifrance の関与を通じてこの融資案件の 50%を引き受けています。

当グループの CSR の約束

9 月 22 日の国連総会で紹介された責任銀行原則は、銀行の責任と責任あるファイナンス目標の監視と公表に関する責任を定めています。クレディ・アグリコル S.A.は、これらの原則のほか、銀行はグリーンファイナンスへの寄与を高めるために講じる必要のある実際の拘束力のある措置を定める国連の気候行動への集团的コミットメントに署名しました。これらの原則に署名することで、クレディ・アグリコル S.A.は、インクルーシブ・エコノミーの拡大とグリーンファイナンスを当グループの成長のカギの 1 つにするという意向を掲げていくという決意を再確認しました。

クレディ・アグリコル S.A.のフィリップ・ブラサック最高経営責任者と UNI グローバル・ユニオン(民間部門のサービス業界団体の国際連盟)のクリスティ・ホフマン書記長は 7 月 31 日、就労国を問わず当グループの全ての従業員に同一の手当てを支給する国際枠組み協定を結びました。この国際協定が取り扱うのは、人権、基本的労働権、社会対話の拡大です。この協定には、(各企業は障害のある労働者の融合に向けた行動計画を整備する旨を定める際の)身体障害、(16 週間の有給産休の原則を定める際の)育児、及び死亡・障害(当グループの子会社で実施されている全ての共済制度を実施するための計画)にかかわる複数の約束事が盛り込まれています。

インクルーシブ・ファイナンス

Fondation Grameen Crédit Agricole は 2018 年 9 月、CA インドスエズ・ウェルス(アセット・マネジメント)及び CACEIS ルクセンブルク支店と協力して、Fonds Grameen Crédit Agricole の下位基金でクレディ・アグリコル・グルー

初のマイクロファイナンス基金となる FIR(「Finance Inclusive en milieu Rural(農村部インクルーシブ・ファイナンス基金)」)を発足しました。2018 年に 15 の地域銀行、クレディ・アグリコル・アシュアランス、及びアムンディは、この下位基金におよそ 800 万ユーロを投資しました。2019 年 6 月の最後の資金調達の際には、新たに 5 行の地域銀行が 160 万ユーロの投資を行う旨を確認しました。

更に、クレディ・アグリコル・グループは、Crédit Agricole Régions Développement(CARD)の資金調達キャンペーンに 3 億ユーロを投じました。これは、各地域のミッドキャップ企業との自らの役割を強化し、SCIR(地域プライベート・エクイティ企業)を通じて地域銀行が既に実施している制度を補完します。

付属資料 1 – 特殊要因(クレディ・アグリコル S.A.とクレディ・アグリコル・グループ)

クレディ・アグリコル S.A. – 特殊要因(2019 年度第 3 四半期と 2018 年度第 3 四半期、2019 年度 9 ヶ月累計期間と 2018 年度 9 ヶ月累計期間)								
In €m	Q3-19		Q3-18		9M-19		9M-18	
	Gros impact*	Impact on Net income						
DVA (LC)	(3)	(2)	(8)	(6)	(15)	(11)	8	5
Loan portfolio hedges (LC)	(1)	(1)	(14)	(10)	(28)	(20)	6	4
Home Purchase Savings Plans (FRB)	(8)	(5)	(2)	(1)	(19)	(12)	(2)	(1)
Home Purchase Savings Plans (CC)	(30)	(20)	(9)	(6)	(58)	(38)	(9)	(6)
Total impact on revenues	(43)	(28)	(33)	(23)	(120)	(81)	2	3
Pioneer integration costs (AG)	-	-	(12)	(6)	-	-	(30)	(14)
3 Italian banks integration costs (IRB)	-	-	(7)	(4)	-	-	9	5
Total impact on operating expenses	-	-	(19)	(10)	-	-	(21)	(10)
ECB fine (CC)	-	-	-	-	-	-	(5)	(5)
Total impact Non-allocated legal risk provisions	-	-	-	-	-	-	(5)	(5)
Change of value of goodwill (CC)	-	-	-	-	-	-	86	66
Total impact on change of value of goodwill	-	-	-	-	-	-	86	66
Total impact of specific items	(43)	(28)	(52)	(32)	(120)	(81)	62	54
<i>Asset gathering</i>	-	-	(12)	(6)	-	-	(30)	(14)
<i>French Retail banking</i>	(8)	(5)	(2)	(1)	(19)	(12)	(2)	(1)
<i>International Retail banking</i>	-	-	(7)	(4)	-	-	9	5
<i>Specialised financial services</i>	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Large customers</i>	(4)	(3)	(21)	(16)	(43)	(31)	13	10
<i>Corporate centre</i>	(30)	(20)	(9)	(6)	(58)	(38)	72	55

* 税引前及び少数株主持分控除前の影響。

クレディ・アグリコル・グループ — 特殊要因(2019年度第3四半期と2018年度第3四半期、2019年度9ヶ月累計期間と2018年度9ヶ月累計期間)

In €m	Q3-19		Q3-18		9M-19		9M-18	
	Gros impact*	Impact on Net income						
DVA (LC)	(3)	(2)	(8)	(6)	(15)	(11)	8	6
Loan portfolio hedges (LC)	(1)	(1)	(14)	(10)	(28)	(21)	6	5
Home Purchase Savings Plans (LCL)	(8)	(5)	(2)	(1)	(19)	(13)	(2)	(1)
Home Purchase Savings Plans (CC)	(30)	(20)	(9)	(6)	(58)	(38)	(9)	(6)
Home Purchase Savings Plans (RB)	(72)	(47)	(22)	(14)	(170)	(111)	(22)	(14)
Total impact on revenues	(115)	(76)	(54)	(37)	(290)	(194)	(19)	(11)
Pioneer integration costs (AG)	-	-	(12)	(6)	-	-	(30)	(14)
Integration costs 3 Italian banks (IRB)	-	-	(7)	(3)	-	-	9	6
Total impact on operating expenses	-	-	(19)	(9)	-	-	(21)	(8)
ECB fine (CC)	-	-	-	-	-	-	(5)	(5)
Total impact Non-allocated legal risk provisions	-	-	-	-	-	-	(5)	(5)
Change of value of goodwill (CC)	-	-	-	-	-	-	86	74
Total impact on change of value of goodwill	-	-	-	-	-	-	86	74
Total impact of specific items	(115)	(76)	(74)	(46)	(290)	(194)	41	50
<i>Asset gathering</i>	-	-	(12)	(6)	-	-	(30)	(14)
<i>French Retail banking</i>	(80)	(53)	(24)	(15)	(189)	(124)	(24)	(15)
<i>International Retail banking</i>	-	-	(7)	(3)	-	-	9	6
<i>Specialised financial services</i>	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Large customers</i>	(4)	(3)	(21)	(16)	(43)	(32)	13	10
<i>Corporate centre</i>	(30)	(20)	(9)	(6)	(58)	(38)	72	63

* 税引前及び少数株主持分控除前の影響。

付属資料 2 – クレディ・アグリコル S.A.: 詳細な表示損益計算書と基礎的損益計算書

クレディ・アグリコル S.A. – 表示実績から基礎的実績(2019 年度第 3 四半期と 2018 年度第 3 四半期)

In €m	Q3-19 stated	Specific items	Q3-19 underlying	Q3-18 stated	Specific items	Q3-18 underlying	Q3/Q3 stated	Q3/Q3 underlying
Revenues	5,031	(43)	5,073	4,802	(33)	4,834	+4.8%	+4.9%
Operating expenses excl.SRF	(3,025)	-	(3,025)	(2,998)	(19)	(2,979)	+0.9%	+1.5%
SRF	(2)	-	(2)	-	-	-	n.m.	n.m.
Gross operating income	2,004	(43)	2,046	1,804	(52)	1,856	+11.1%	+10.3%
Cost of risk	(335)	-	(335)	(218)	-	(218)	+53.2%	+53.2%
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	n.m.	n.m.
Equity-accounted entities	82	-	82	78	-	78	+5.1%	+5.1%
Net income on other assets	17	-	17	(0)	-	(0)	n.m.	n.m.
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	n.m.	n.m.
Income before tax	1,769	(43)	1,811	1,663	(52)	1,715	+6.3%	+5.6%
Tax	(423)	14	(437)	(434)	15	(449)	(2.5%)	(2.7%)
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	0	-	0	(1)	-	(1)	n.m.	n.m.
Net income	1,346	(28)	1,374	1,228	(37)	1,265	+9.6%	+8.6%
Non controlling interests	(147)	0	(148)	(128)	4	(132)	+15.6%	+12.1%
Net income Group Share	1,199	(28)	1,226	1,101	(32)	1,133	+8.9%	+8.2%
Earnings per share (€)	0.33	(0.01)	0.34	0.35	(0.01)	0.36	(6.0%)	(6.3%)
Cost/Income ratio excl. SRF (%)	60.1%		59.6%	62.4%		61.6%	-2.3 pp	-2.0 pp
Net income Group Share excl. SRF	1,201	(28)	1,229	1,101	(32)	1,133	+9.1%	+8.5%

クレディ・アグリコル S.A. — 表示実績から基礎的実績(2019 年度 9 ヶ月累計期間と
2018 年度 9 ヶ月累計期間)

In €m	9M-19 stated	Specific items	9M-19 underlying	9M-18 stated	Specific items	9M-18 underlying	9M/9M stated	9M/9M underlying
Revenues	15,034	(120)	15,155	14,882	2	14,880	+1.0%	+1.8%
Operating expenses excl.SRF	(9,161)	-	(9,161)	(9,073)	(21)	(9,053)	+1.0%	+1.2%
SRF	(340)	-	(340)	(302)	-	(302)	+12.5%	+12.5%
Gross operating income	5,534	(120)	5,654	5,507	(18)	5,525	+0.5%	+2.3%
Cost of risk	(917)	-	(917)	(755)	-	(755)	+21.4%	+21.4%
Cost of legal risk	-	-	-	(5)	(5)	-	(100.0%)	n.m.
Equity-accounted entities	275	-	275	248	-	248	+11.0%	+11.0%
Net income on other assets	39	-	39	32	-	32	+21.8%	+21.8%
Change in value of goodwill	-	-	-	86	86	-	(100.0%)	n.m.
Income before tax	4,931	(120)	5,052	5,113	62	5,050	(3.5%)	+0.0%
Tax	(1,302)	38	(1,340)	(1,244)	6	(1,250)	+4.7%	+7.2%
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	8	-	8	(3)	-	(3)	n.m.	n.m.
Net income	3,637	(83)	3,720	3,866	69	3,797	(5.9%)	(2.0%)
Non controlling interests	(454)	1	(455)	(473)	(15)	(459)	(4.1%)	(0.7%)
Net income Group Share	3,183	(81)	3,264	3,393	54	3,338	(6.2%)	(2.2%)
Earnings per share (€)	0.94	(0.03)	0.97	1.08	0.02	1.06	(12.8%)	(8.6%)
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	60.9%		60.5%	61.0%		60.8%	-0.0 pp	-0.4 pp
Net income Group Share excl. SRF	3,498	(81)	3,579	3,679	54	3,625	(4.9%)	(1.3%)

付属資料 3 - クレディ・アグリコル S.A.: 部門別実績

クレディ・アグリコル S.A.: 部門別寄与 (2019 年度第 3 四半期と 2018 年度第 3 四半期)							
€m	Q3-19 (stated)						Total
	AG	FRB (LCL)	IRB	SFS	LC	CC	
Revenues	1,507	858	692	676	1,397	(100)	5,031
Operating expenses excl. SRF	(706)	(576)	(422)	(341)	(803)	(176)	(3,025)
SRF	-	-	-	-	-	(2)	(2)
Gross operating income	801	282	270	335	594	(278)	2,004
Cost of risk	(11)	(58)	(84)	(131)	(45)	(5)	(335)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	8	-	-	74	2	(2)	82
Net income on other assets	21	(0)	(0)	(0)	(3)	0	17
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	819	224	186	278	547	(285)	1,769
Tax	(238)	(68)	(54)	(56)	(63)	56	(423)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	0	-	-	-	-	-	0
Net income	581	156	132	222	485	(229)	1,346
Non controlling interests	(79)	(7)	(35)	(21)	(10)	4	(147)
Net income Group Share	502	149	97	201	475	(225)	1,199
Q3-18 (stated)							
€m	AG	FRB (LCL)	IRB	SFS	LC	CC	Total
Revenues	1,452	858	662	695	1,297	(162)	4,802
Operating expenses excl. SRF	(680)	(578)	(417)	(339)	(773)	(212)	(2,998)
SRF	-	-	-	-	-	-	-
Gross operating income	772	280	245	356	524	(374)	1,804
Cost of risk	14	(50)	(95)	(141)	57	(2)	(218)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	12	-	-	63	1	2	78
Net income on other assets	(2)	0	0	1	1	(0)	(0)
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	796	231	150	279	582	(375)	1,663
Tax	(242)	(68)	(45)	(63)	(166)	151	(434)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	(1)	-	-	(0)	-	-	(1)
Net income	554	162	106	215	416	(224)	1,228
Non controlling interests	(70)	(7)	(29)	(24)	(8)	11	(128)
Net income Group Share	484	155	77	190	408	(213)	1,101

クレディ・アグリコル S.A. : 部門別寄与 (2019 年度 9 ヶ月累計期間と 2018 年度 9 ヶ月累計期間)

€m	9M-19 (stated)						Total
	AG	FRB (LCL)	IRB	SFS	LC	CC	
Revenues	4,455	2,605	2,083	2,044	4,203	(356)	15,034
Operating expenses excl. SRF	(2,150)	(1,742)	(1,278)	(1,012)	(2,419)	(560)	(9,161)
SRF	(7)	(32)	(22)	(18)	(177)	(83)	(340)
Gross operating income	2,298	832	783	1,013	1,607	(999)	5,534
Cost of risk	(14)	(153)	(256)	(370)	(105)	(19)	(917)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	32	-	-	231	1	11	275
Net income on other assets	20	1	(1)	1	(1)	20	39
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	2,337	680	526	874	1,502	(987)	4,931
Tax	(658)	(221)	(151)	(193)	(340)	261	(1,302)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	8	-	-	-	-	-	8
Net income	1,687	458	375	681	1,162	(726)	3,637
Non controlling interests	(237)	(21)	(101)	(79)	(23)	5	(454)
Net income Group Share	1,451	438	274	602	1,139	(721)	3,183
€m	9M-18 (stated)						Total
	AG	FRB (LCL)	IRB	SFS	LC	CC	
Revenues	4,308	2,592	2,028	2,078	4,158	(281)	14,882
Operating expenses excl. SRF	(2,109)	(1,766)	(1,249)	(1,006)	(2,356)	(586)	(9,073)
SRF	(3)	(28)	(22)	(18)	(170)	(62)	(302)
Gross operating income	2,195	798	757	1,054	1,633	(930)	5,507
Cost of risk	5	(157)	(274)	(368)	38	1	(755)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	(5)	(5)
Equity-accounted entities	38	-	-	190	2	19	248
Net income on other assets	(2)	3	0	1	14	16	32
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	86	86
Income before tax	2,236	643	483	877	1,686	(812)	5,113
Tax	(599)	(201)	(146)	(204)	(472)	377	(1,244)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	(1)	(1)	-	(0)	-	-	(3)
Net income	1,635	441	338	673	1,215	(435)	3,866
Non controlling interests	(225)	(20)	(93)	(88)	(23)	(24)	(473)
Net income Group Share	1,410	422	245	585	1,191	(460)	3,393

付属資料 4 – クレディ・アグリコル・グループ: 詳細な表示損益計算書と基礎的損益計算書

クレディ・アグリコル・グループ – 表示実績と基礎的実績 (2019 年度第 3 四半期と 2018 年度第 3 四半期)								
In €m	Q3-19 stated	Specific items	Q3-19 underlying	Q3-18 stated	Specific items	Q3-18 underlying	Q3/Q3 stated	Q3/Q3 underlying
Revenues	8,216	(115)	8,331	8,043	(54)	8,097	+2.2%	+2.9%
Operating expenses excl.SRF	(5,220)	-	(5,220)	(5,102)	(19)	(5,083)	+2.3%	+2.7%
SRF	-	-	-	-	-	-	n.m.	n.m.
Gross operating income	2,997	(115)	3,111	2,940	(74)	3,014	+1.9%	+3.2%
Cost of risk	(384)	-	(384)	(323)	-	(323)	+18.9%	+18.9%
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	n.m.	n.m.
Equity-accounted entities	85	-	85	77	-	77	+10.0%	+10.0%
Net income on other assets	18	-	18	2	-	2	x 10.8	x 10.8
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	n.m.	n.m.
Income before tax	2,715	(115)	2,830	2,696	(74)	2,770	+0.7%	+2.2%
Tax	(748)	39	(787)	(816)	23	(839)	(8.4%)	(6.2%)
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	0	-	0	(1)	-	(1)	n.m.	n.m.
Net income	1,968	(76)	2,043	1,879	(51)	1,930	+4.7%	+5.9%
Non controlling interests	(119)	-	(119)	(110)	4	(115)	+7.9%	+3.8%
Net income Group Share	1,849	(76)	1,924	1,769	(46)	1,815	+4.5%	+6.0%
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	63.5%		62.7%	63.4%		62.8%	+0.1 pp	-0.1 pp
Net income Group Share excl. SRF	1,849	(76)	1,924	1,769	(46)	1,815	+4.5%	+6.0%

クレディ・アグリコル・グループ — 表示実績と基礎的実績(2019年度9ヶ月累計期間と2018年度9ヶ月累計期間)

In €m	9M-19 stated	Specific items	9M-19 underlying	9M-18 stated	Specific items	9M-18 underlying	9M/9M stated	9M/9M underlying
Revenues	24,898	(290)	25,188	24,729	(19)	24,748	+0.7%	+1.8%
Operating expenses excl.SRF	(15,805)	-	(15,805)	(15,586)	(21)	(15,565)	+1.4%	+1.5%
SRF	(426)	-	(426)	(389)	-	(389)	+9.4%	+9.4%
Gross operating income	8,667	(290)	8,957	8,754	(40)	8,794	(1.0%)	+1.9%
Cost of risk	(1,263)	-	(1,263)	(1,141)	-	(1,141)	+10.7%	+10.7%
Cost of legal risk	-	-	-	(5)	(5)	-	(100.0%)	n.m.
Equity-accounted entities	273	-	273	256	-	256	+6.8%	+6.8%
Net income on other assets	21	-	21	39	-	39	(46.6%)	(46.6%)
Change in value of goodwill	-	-	-	86	86	-	(100.0%)	n.m.
Income before tax	7,698	(290)	7,989	7,989	41	7,948	(3.6%)	+0.5%
Tax	(2,323)	96	(2,420)	(2,317)	14	(2,331)	+0.3%	+3.8%
Net income from discont'd or held-for- sale ope.	8	-	8	(3)	-	(3)	n.m.	n.m.
Net income	5,383	(194)	5,577	5,669	55	5,614	(5.0%)	(0.7%)
Non controlling interests	(372)	-	(372)	(395)	(5)	(390)	(5.9%)	(4.7%)
Net income Group Share	5,012	(194)	5,205	5,273	50	5,224	(5.0%)	(0.3%)
Cost/Income ratio excl.SRF (%)	63.5%		62.7%	63.0%		62.9%	+0.5 pp	-0.1 pp
Net income Group Share excl. SRF	5,417	(194)	5,611	5,650	50	5,600	(4.1%)	+0.2%

付属資料 5 - クレディ・アグリコル・グループ: 部門別実績

クレディ・アグリコル・グループ - 部門別寄与(2019年度第3四半期と2018年度第3四半期)								
€m	Q3-19 (stated)							
	RB	LCL	IRB	AG	SFS	LC	CC	Total
Revenues	3,172	858	717	1,499	676	1,397	(103)	8,216
Operating expenses excl. SRF	(2,147)	(576)	(441)	(706)	(341)	(803)	(205)	(5,220)
SRF	2	-	-	-	-	-	(2)	-
Gross operating income	1,028	282	276	793	335	594	(310)	2,997
Cost of risk	(48)	(58)	(85)	(11)	(131)	(45)	(6)	(384)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	0	-	-	8	74	2	-	85
Net income on other assets	1	(0)	(0)	21	(0)	(3)	0	18
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	981	224	190	810	278	547	(316)	2,715
Tax	(340)	(68)	(54)	(235)	(56)	(63)	69	(748)
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	-	-	-	0	-	-	-	0
Net income	641	156	136	575	222	484	(247)	1,968
Non controlling interests	(0)	(0)	(28)	(75)	(21)	0	5	(119)
Net income Group Share	641	156	109	500	201	485	(242)	1,849
€m	Q3-18 (stated)							
	RB	LCL	AG	IRB	SFS	LC	CC	Total
Revenues	3,220	858	1,453	687	695	1,298	(169)	8,043
Operating expenses excl. SRF	(2,077)	(578)	(680)	(433)	(339)	(773)	(223)	(5,102)
SRF	-	-	-	-	-	-	-	-
Gross operating income	1,144	280	773	254	356	525	(391)	2,940
Cost of risk	(104)	(50)	14	(96)	(141)	57	(2)	(323)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	1	-	12	-	63	1	-	77
Net income on other assets	2	0	(2)	0	1	1	(0)	2
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	1,042	231	797	158	279	584	(394)	2,696
Tax	(385)	(68)	(242)	(46)	(63)	(167)	156	(816)
Net income from discount'd or held-for-sale ope.	-	-	(1)	-	(0)	-	-	(1)
Net income	656	162	555	112	215	417	(238)	1,879
Non controlling interests	0	(1)	(66)	(24)	(24)	0	4	(110)
Net income Group Share	657	161	489	88	190	417	(233)	1,769

クレディ・アグリコル・グループ — 部門別寄与 — 表示(2019年度9ヶ月累計期間と
2018年度9ヶ月累計期間)

	9M-19 (stated)							
€m	RB	LCL	IRB	AG	SFS	LC	CC	Total
Revenues	9,841	2,605	2,158	4,439	2,044	4,200	(390)	24,898
Operating expenses excl. SRF	(6,560)	(1,742)	(1,335)	(2,150)	(1,012)	(2,419)	(586)	(15,805)
SRF	(86)	(32)	(22)	(7)	(18)	(177)	(83)	(426)
Gross operating income	3,195	832	801	2,281	1,013	1,605	(1,060)	8,667
Cost of risk	(342)	(153)	(260)	(14)	(370)	(105)	(19)	(1,263)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	-	-
Equity-accounted entities	9	-	-	32	231	1	-	273
Net income on other assets	(6)	1	(1)	20	1	(1)	8	21
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	-	-
Income before tax	2,855	679	540	2,320	874	1,500	(1,071)	7,698
Tax	(1,050)	(221)	(153)	(654)	(193)	(340)	287	(2,323)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	-	-	8	-	-	-	8
Net income	1,806	458	387	1,675	681	1,160	(784)	5,383
Non controlling interests	(0)	(0)	(81)	(224)	(79)	1	12	(372)
Net income Group Share	1,805	458	307	1,450	602	1,161	(772)	5,012
	9M-18 (stated)							
€m	RB	LCL	AG	IRB	SFS	LC	CC	Total
Revenues	9,805	2,592	4,301	2,104	2,078	4,160	(311)	24,729
Operating expenses excl. SRF	(6,421)	(1,766)	(2,109)	(1,302)	(1,006)	(2,356)	(624)	(15,586)
SRF	(87)	(28)	(3)	(22)	(18)	(170)	(62)	(389)
Gross operating income	3,297	797	2,189	780	1,054	1,634	(998)	8,754
Cost of risk	(384)	(157)	5	(275)	(368)	38	0	(1,141)
Cost of legal risk	-	-	-	-	-	-	(5)	(5)
Equity-accounted entities	8	-	38	-	190	2	19	256
Net income on other assets	7	3	(2)	0	1	14	16	39
Change in value of goodwill	-	-	-	-	-	-	86	86
Income before tax	2,928	643	2,229	506	877	1,688	(881)	7,989
Tax	(1,076)	(201)	(598)	(151)	(204)	(472)	384	(2,317)
Net income from discontinued or held-for-sale operations	-	(1)	(1)	-	(0)	-	-	(3)
Net income	1,852	441	1,630	355	673	1,216	(497)	5,669
Non controlling interests	(0)	(0)	(214)	(75)	(88)	1	(19)	(395)
Net income Group Share	1,852	441	1,416	280	585	1,217	(517)	5,273

付属資料 6 — 1 株当たり利益、1 株当たり純資産、及び ROTE の計算に使用される方法

クレディ・アグリコル S.A. — 1 株当たりデータ							
(in €m)		Q3-19	Q3-18	9M-19	9M-18	Q3/Q3	9M/9M
Net income Group share - stated		1,199	1,101	3,183	3,393	+8.9%	-6.2%
- Interests on AT1, including issuance costs, before tax		(242)	(91)	(482)	(316)	x 2.7	+52.5%
NIGS attributable to ordinary shares - stated	[A]	956	1,009	2,701	3,077	-5.3%	-12.2%
Average number shares in issue, excluding treasury shares (m)	[B]	2,882.4	2,858.4	2,870.0	2,850.6	+0.8%	+0.7%
Net earnings per share - stated	[A]/[B]	0.33 €	0.35 €	0.94 €	1.08 €	-6.0%	-12.8%
Underlying net income Group share (NIGS)		1,226	1,133	3,264	3,338	+8.2%	-2.2%
Underlying NIGS attributable to ordinary shares	[C]	984	1,042	2,782	3,022	-5.5%	-7.9%
Net earnings per share - underlying	[C]/[B]	0.34 €	0.36 €	0.97 €	1.06 €	-6.3%	-8.6%
(in €m)				30/09/2019	30/09/2018		
Shareholder's equity Group share				62,287	57,995		
- AT1 issuances				(5,134)	(5,011)		
- Unrealised gains and losses on OCI - Group share				(3,576)	(2,299)		
- Payout assumption on annual results*				-	-		
Net book value (NBV), not revaluated, attributable to ordin. sh.	[D]			53,577	50,734		
- Goodwill & intangibles** - Group share				(18,391)	(17,774)		
Tangible NBV (TNBV), not revaluated attrib. to ordinary sh.	[E]			35,186	32,961		
Total shares in issue, excluding treasury shares (period end, m)	[F]			2,882.8	2,863.6		
NBV per share , after deduction of dividend to pay (€)	[D]/[F]			18.6 €	17.7 €		
+ Dividend to pay (€)	[H]			0.0 €	0.00 €		
NBV per share , before deduction of dividend to pay (€)				18.6 €	17.7 €		
TNBV per share, after deduction of dividend to pay (€)	[G]=[E]/[F]			12.2 €	11.5 €		
TNBV per sh., before deduct. of divid. to pay (€)	[G]+[H]			12.2 €	11.5 €		
(in €m)				9M-19	9M-18		
Net income Group share attributable to ordinary shares	[H]			3,638	4,083		
Tangible NBV (TNBV), not revaluated attrib. to ord. sh. - avg***	[J]			33,059	30,674		
Stated ROTE (%)	[H]/[J]			11.0%	13.3%		
Underlying Net income attrib. to ord. shares (annualised)	[I]			3,746	4,011		
Underlying ROTE (%)	[I]/[J]			11.3%	13.1%		

*** 計画された利益配分を想定。

Warning

Financial information on Crédit Agricole S.A. and Crédit Agricole Group for the third quarter and first nine months of 2019 comprises this presentation and the attached press release and quarterly financial report which are available on the website at <https://www.credit-agricole.com/en/finance/finance/financial-publications>.

This presentation may include prospective information on the Group, supplied as information on trends. This data does not represent forecasts within the meaning of European Regulation 809/2004 of 29 April 2004 (Chapter 1, Article 2, paragraph 10).

This information was developed from scenarios based on a number of economic assumptions for a given competitive and regulatory environment. Therefore, these assumptions are by nature subject to random factors that could cause actual results to differ from projections. Likewise, the financial statements are based on estimates, particularly in calculating market value and asset impairment.

Readers must take all these risk factors and uncertainties into consideration before making their own judgement.

Applicable standards and comparability

The figures presented for the nine-month period ending 30 September 2019 have been prepared in accordance with IFRS as adopted in the European Union and applicable at that date, and with prudential regulations currently in force. This financial information does not constitute a set of financial statements for an interim period as defined by IAS 34 "Interim Financial Reporting" and has not been audited.

Note: The scopes of consolidation of Crédit Agricole S.A. and Crédit Agricole Group have not changed materially since the Crédit Agricole S.A. 2018 Registration Document and its 2018 A.01 update (including all regulatory information about Crédit Agricole Group) were filed with the AMF (French Financial Markets Authority).

The sum of values contained in the tables and analyses may differ slightly from the total reported due to rounding.

The income statements contained in this report show non-controlling interests with a minus sign such that the "net income Group share" line item is the mathematical addition of the "net income" line item and the "non-controlling interests" line item.

Since 3 May 2018, Banca Leonardo has been included in the scope of consolidation of Crédit Agricole Group as a subsidiary of Indosuez Wealth Management. Historical data have not been restated on a proforma basis.

Since 30 September 2019, Kas Bank has been included in the scope of consolidation of Crédit Agricole Group as a subsidiary of CACEIS. SoYou has also been included in the scope of consolidation as a joint-venture with between Crédit Agricole Consumer Finance and Bankia. Historical data have not been restated on a proforma basis.

決算スケジュール

2020年2月14日	2019年度第4四半期及び通年の決算発表
2020年5月6日	2020年度第1四半期の決算発表
2020年5月13日	年次株主総会(パリ)
2020年8月6日	2020年度第2四半期及び上半期の決算発表
2020年11月4日	2020年度第3四半期及び9ヶ月累計期間の決算発表

Contacts

CRÉDIT AGRICOLE PRESS CONTACTS

Charlotte de Chavagnac	+ 33 1 57 72 11 17	charlotte.dechavagnac@credit-agricole-sa.fr
Olivier Tassain	+ 33 1 43 23 25 41	olivier.tassain@credit-agricole-sa.fr
Caroline de Cassagne	+ 33 1 49 53 41 72	caroline.decassagne@ca-fnca.fr

CREDIT AGRICOLE S.A. INVESTOR RELATIONS CONTACTS

Institutional shareholders	+ 33 1 43 23 04 31	investor.relations@credit-agricole-sa.fr
Individual shareholders	+ 33 800 000 777 (toll free number – France only)	credit-agricole-sa@relations-actionnaires.com

Clotilde L'Angevin	+ 33 1 43 23 32 45	clotilde.langevin@credit-agricole-sa.fr
Equity investors:		
Joséphine Brouard	+ 33 1 43 23 48 33	joséphine.brouard@credit-agricole-sa.fr
Oriane Cante	+ 33 1 43 23 03 07	oriane.cante@credit-agricole-sa.fr
Emilie Gasnier	+ 33 1 43 23 15 67	emilie.gasnier@credit-agricole-sa.fr
Ibrahima Konaté	+ 33 1 43 23 51 35	ibrahima.konate@credit-agricole-sa.fr
Vincent Liscia	+ 33 1 57 72 38 48	vincent.liscia@credit-agricole-sa.fr
Annabelle Wiriath	+ 33 1 43 23 55 52	annabelle.wiriath@credit-agricole-sa.fr

Credit investors and rating agencies:

Caroline Crépin	+ 33 1 43 23 83 65	caroline.crepin@credit-agricole-sa.fr
Marie-Laure Malo	+ 33 1 43 23 10 21	marielaure.malo@credit-agricole-sa.fr
Rhita Alami Hassani	+ 33 1 43 23 15 27	rhita.alamihassani@credit-agricole-sa.fr

See all our press releases at: www.credit-agricole.com - www.creditagricole.info



Crédit_Agricole



Crédit Agricole Group



creditagricole_sa